

平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルデザイン
代表者名 代表取締役社長 星川 征仁
(コード：4764、JASDAQ グローズ)
問合せ先 管理部 桐山 雅志
(TEL. 03-5259-5300)

(訂正)「平成 27 年 1 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年9月11日に開示いたしました「平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成28年10月14日）付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度及び平成29年1月期第1四半期に係る決算短信（訂正）の公表並びに平成29年1月期第2四半期報告書提出及び平成29年1月期第2四半期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 成瀬恵一 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	61	△12.6	△11	—	△11	—	△12	—
26年1月期第2四半期	69	△56.2	△23	—	△23	—	△25	—

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 △12百万円 (—%) 26年1月期第2四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年1月期第2四半期	△4	79	—	—
26年1月期第2四半期	△9	35	—	—

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	999	962	962	975	96.3	357.60
26年1月期	1,013	975	975	975	96.3	362.40

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 962百万円 26年1月期 975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

当社グループは、売上ならびに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年1月期2Q	2,691,000株	26年1月期	2,691,000株
27年1月期2Q	－株	26年1月期	－株
27年1月期2Q	2,691,000株	26年1月期2Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上並びに費用に関して短期的な変動要因が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間は、依然として欧州財政問題や、新興国の経済成長の鈍化など景気下振れ懸念を残し不透明な状況で推移しました。金融情勢においては、国内株価が回復傾向にあったものの、日銀「量的・質的金融緩和」を継続する中、欧米の長期金利が低下傾向にあったことから、国内の長期金利もさらに低下し、為替市場はやや円高傾向で推移しました。

こうした状況の下、当社グループはモデリング技術や自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューション販売を推進するとともにソフトウェアサービスの新規マーケットを確保するために新たな企業との協業を模索しております。

また、技術面におきましては、ITイノベーションが進むと見られるサービス分野における顧客価値向上のために当社データ通信ソフトのスマート対応を強化しうる製品開発を行い、また、高度な利活用が進むデジタル画像分野では、画像、映像を活用する業務システムを構築してまいりました。

体制面におきましては、販売体制の整備と、黒字を維持しうるマネジメント力の強化に注力しております。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高61,025千円(前年同期比12.6%減)、営業損失11,197千円(前年同期は営業損失23,511千円)、経常損失11,096千円(前年同期は経常損失23,366千円)、四半期純損失12,878千円(前年同期は四半期純損失25,166千円)となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業におきましては、捜査支援用画像処理システム「ImageReporter」シリーズ、仕事で使う動画共有ソフト「CorporateCAST」、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズの新バージョンの開発に従事し、モデリング技術を活用したシステム構築及びデジタル画像、映像に関する処理技術を活用したシステム構築をしております。

また、「ImageReporter」は、メディアに取り上げられたことがきっかけになり、お問い合わせが増え、事業提携も視野に入れた商談が発生し、「捜査支援」の枠組みから発展する気配を見せております。

さらに、ソフトウェアサービスの新規マーケットを確保するための基盤開発に着手しております。

以上の結果、当四半期連結累計期間におきましては、売上高54,643千円(前年同期比14.9%減)、営業利益8,439千円(前年同期は営業損失3,072千円)となりました。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産(自社ビル)の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する6階建ての当該自社ビルの2フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、999,546千円(前連結会計年度末と比べ13,606千円減)となりました。

流動資産は、682,894千円(前連結会計年度末と比べ10,086千円減)となりました。これは主に現金及び預金が664,214千円(前連結会計年度末と比べ6,972千円減)、受取手形及び売掛金が3,538千円(前連結会計年度末と比べ6,860千円減)となったことによるものであります。

固定資産は、316,652千円(前連結会計年度末と比べ3,520千円減)となりました。これは主に投資その他の資産が129,226千円(前連結会計年度末と比べ3,600千円減)となったこと等によるものであります。

流動負債は、30,911千円(前連結会計年度末と比べ702千円減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,650千円(前連結会計年度末と比べ2,672千円増)になったものの未払金が1,082千円(前連結会計年度末と比べ1,023千円減)及び未払法人税等が4,350千円(前連結会計年度末と比べ1,828千円減)となったことによるものです。

純資産は、962,310千円(前連結会計年度末と比べ12,894千円減)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、664,214千円(前年同期末残高は、669,105千円)となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は7,014千円(前年同期は、5,655千円の増加)となりました。

これは主に、売上債権の減少による収入6,860千円があったものの、税金等調整前四半期純損失11,196千円を計上したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、42千円(前年同期は4,015千円の減少)となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入3,500千円がありましたが、無形固定資産の取得による支出3,136千円等が生じたためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間において財務活動はありませんでした。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,187	664,214
受取手形及び売掛金	10,398	3,538
商品及び製品	2,646	2,566
仕掛品	4,241	7,833
原材料及び貯蔵品	579	528
その他	4,234	4,298
貸倒引当金	△307	△85
流動資産合計	692,980	682,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,226	26,326
減価償却累計額	△2,600	△3,222
建物及び構築物(純額)	23,626	23,104
工具、器具及び備品	2,175	1,375
減価償却累計額	△1,904	△1,326
工具、器具及び備品(純額)	270	48
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,543	178,799
無形固定資産		
ソフトウェア	5,871	3,651
ソフトウェア仮勘定	—	3,234
その他	1,931	1,740
無形固定資産合計	7,802	8,626
投資その他の資産		
投資有価証券	12,239	12,214
差入保証金	2,952	3,248
長期貸付金	7,574	4,469
長期前払費用	17,944	17,178
保険積立金	95,715	95,715
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△165,932	△165,932
投資その他の資産合計	132,826	129,226
固定資産合計	320,172	316,652
資産合計	1,013,153	999,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	3,650
未払金	2,105	1,082
未払法人税等	6,178	4,350
前受金	16,721	17,580
その他	5,630	4,247
流動負債合計	31,614	30,911
固定負債		
長期預り保証金	6,267	6,267
繰延税金負債	66	57
固定負債合計	6,333	6,324
負債合計	37,948	37,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,493,125	△1,506,003
株主資本合計	975,085	962,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	103
その他の包括利益累計額合計	119	103
純資産合計	975,205	962,310
負債純資産合計	1,013,153	999,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
売上高	69,797	61,025
売上原価	31,548	25,142
売上総利益	38,249	35,883
販売費及び一般管理費	61,760	47,080
営業損失(△)	△23,511	△11,197
営業外収益		
受取利息	70	73
為替差益	27	—
その他	47	27
営業外収益合計	145	101
営業外費用		
為替差損	—	0
営業外費用合計	—	0
経常損失(△)	△23,366	△11,096
特別損失		
固定資産売却損	—	100
特別損失合計	—	100
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,366	△11,196
法人税、住民税及び事業税	1,605	1,682
法人税等合計	1,605	1,682
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,971	△12,878
少数株主利益	195	—
四半期純損失(△)	△25,166	△12,878

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年 7 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 2 月 1 日 至 平成26年 7 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△24,971</u>	<u>△12,878</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△16
その他の包括利益合計	1	△16
四半期包括利益	<u>△24,970</u>	<u>△12,894</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△25,165</u>	<u>△12,894</u>
少数株主に係る四半期包括利益	195	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,366	△11,196
減価償却費	2,997	2,982
固定資産売却損益(△は益)	—	100
のれん償却額	2,551	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△274	△221
受取利息及び受取配当金	△70	△73
売上債権の増減額(△は増加)	27,869	6,860
たな卸資産の増減額(△は増加)	224	△3,461
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,520	2,672
その他	2,751	△1,239
小計	9,161	△3,576
利息及び配当金の受取額	70	67
法人税等の支払額	△3,576	△3,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,655	△7,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,400	△100
有形固定資産の売却による収入	—	75
無形固定資産の取得による支出	△3,278	△3,136
貸付金の回収による収入	—	3,500
その他	663	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,015	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,640	△6,972
現金及び現金同等物の期首残高	667,465	671,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	669,105	664,214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	64,197	5,600	69,797	—	69,797
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,756	3,756	△3,756	—
計	64,197	9,356	73,554	△3,756	69,797
セグメント利益又は損失(△)	△3,072	4,717	1,645	<u>△25,156</u>	<u>△23,511</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△25,156千円には、セグメント間消去1,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26,256千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	54,643	6,382	61,025	—	61,025
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,720	3,720	△3,720	—
計	54,643	10,103	64,746	△3,720	61,025
セグメント利益	8,439	4,772	13,211	<u>△24,408</u>	<u>△11,197</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△24,408千円には、セグメント間消去2,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26,808千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正前)



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 成瀬恵一 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	61	△12.6	△11	—	△11	—	△13	—
26年1月期第2四半期	69	△56.2	△23	—	△23	—	△25	—

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 △13百万円 (—%) 26年1月期第2四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	△4.86	—
26年1月期第2四半期	△9.47	—

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	998	961	96.3	357.29
26年1月期	1,012	974	96.3	362.16

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 961百万円 26年1月期 974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

当社グループは、売上ならびに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年1月期2Q	2,691,000株	26年1月期	2,691,000株
27年1月期2Q	－株	26年1月期	－株
27年1月期2Q	2,691,000株	26年1月期2Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上並びに費用に関して短期的な変動要因が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間は、依然として欧州財政問題や、新興国の経済成長の鈍化など景気下振れ懸念を残し不透明な状況で推移しました。金融情勢においては、国内株価が回復傾向にあったものの、日銀「量的・質的金融緩和」を継続する中、欧米の長期金利が低下傾向にあったことから、国内の長期金利もさらに低下し、為替市場はやや円高傾向で推移しました。

こうした状況の下、当社グループはモデリング技術や自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューション販売を推進するとともにソフトウェアサービスの新規マーケットを確保するために新たな企業との協業を模索しております。

また、技術面におきましては、ITイノベーションが進むと見られるサービス分野における顧客価値向上のために当社データ通信ソフトのスマート対応を強化しうる製品開発を行い、また、高度な利活用が進むデジタル画像分野では、画像、映像を活用する業務システムを構築してまいりました。

体制面におきましては、販売体制の整備と、黒字を維持しうるマネジメント力の強化に注力しております。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高61,025千円（前年同期比12.6%減）、営業損失11,379千円（前年同期は営業損失23,834千円）、経常損失11,286千円（前年同期は経常損失23,690千円）、四半期純損失13,068千円（前年同期は四半期純損失25,491千円）となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業におきましては、捜査支援用画像処理システム「ImageReporter」シリーズ、仕事で使う動画共有ソフト「CorporateCAST」、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズの新バージョンの開発に従事し、モデリング技術を活用したシステム構築及びデジタル画像、映像に関する処理技術を活用したシステム構築をしております。

また、「ImageReporter」は、メディアに取り上げられたことがきっかけになり、お問い合わせが増え、事業提携も視野に入れた商談が発生し、「捜査支援」の枠組みから発展する気配を見せております。

さらに、ソフトウェアサービスの新規マーケットを確保するための基盤開発に着手しております。

以上の結果、当四半期連結累計期間におきましては、売上高54,643千円（前年同期比14.9%減）、営業利益8,439千円（前年同期は営業損失3,072千円）となりました。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産（自社ビル）の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する 6 階建ての当該自社ビルの 2 フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、998,662千円（前連結会計年度末と比べ13,810千円減）となりました。流動資産は、682,880千円（前連結会計年度末と比べ10,093千円減）となりました。これは主に現金及び預金が664,214千円（前連結会計年度末と比べ6,972千円減）、受取手形及び売掛金が3,538千円（前連結会計年度末と比べ6,860千円減）となったことによるものであります。

固定資産は、315,782千円（前連結会計年度末と比べ3,716千円減）となりました。これは主に投資その他の資産が128,356千円（前連結会計年度末と比べ3,795千円減）となったこと等によるものであります。

流動負債は、30,862千円（前連結会計年度末と比べ716千円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,650千円（前連結会計年度末と比べ2,672千円増）になったものの未払金が1,082千円（前連結会計年度末と比べ1,023千円減）及び未払法人税等が4,346千円（前連結会計年度末と比べ1,829千円減）となったことによるものです。

純資産は、961,475千円（前連結会計年度末と比べ13,084千円減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、664,214千円（前年同期末残高は、669,105千円）となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は7,014千円（前年同期は、5,655千円の増加）となりました。

これは主に、売上債権の減少による収入6,860千円があったものの、税金等調整前四半期純損失11,386千円を計上したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、42千円（前年同期は4,015千円の減少）となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入3,500千円がありましたが、無形固定資産の取得による支出3,136千円等が生じたためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間において財務活動はありませんでした。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,187	664,214
受取手形及び売掛金	10,398	3,538
商品及び製品	2,646	2,566
仕掛品	4,241	7,833
原材料及び貯蔵品	579	528
その他	4,228	4,284
貸倒引当金	△307	△85
流動資産合計	692,974	682,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,226	26,326
減価償却累計額	△2,600	△3,222
建物及び構築物(純額)	23,626	23,104
工具、器具及び備品	2,175	1,375
減価償却累計額	△1,904	△1,326
工具、器具及び備品(純額)	270	48
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,543	178,799
無形固定資産		
ソフトウェア	5,871	3,651
ソフトウェア仮勘定	—	3,234
その他	1,931	1,740
無形固定資産合計	7,802	8,626
投資その他の資産		
投資有価証券	12,239	12,214
差入保証金	2,952	3,248
長期貸付金	6,900	3,600
長期前払費用	17,944	17,178
保険積立金	95,715	95,715
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△165,932	△165,932
投資その他の資産合計	132,152	128,356
固定資産合計	319,498	315,782
資産合計	1,012,472	998,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	3,650
未払金	2,105	1,082
未払法人税等	6,175	4,346
前受金	16,721	17,580
その他	5,597	4,203
流動負債合計	31,579	30,862
固定負債		
長期預り保証金	6,267	6,267
繰延税金負債	66	57
固定負債合計	6,333	6,324
負債合計	37,913	37,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,493,770	△1,506,839
株主資本合計	974,440	961,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	103
その他の包括利益累計額合計	119	103
純資産合計	974,559	961,475
負債純資産合計	1,012,472	998,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
売上高	69,797	61,025
売上原価	31,548	25,142
売上総利益	38,249	35,883
販売費及び一般管理費	62,083	47,263
営業損失(△)	△23,834	△11,379
営業外収益		
受取利息	69	66
為替差益	27	—
その他	47	27
営業外収益合計	144	93
営業外費用		
為替差損	—	0
営業外費用合計	—	0
経常損失(△)	△23,690	△11,286
特別損失		
固定資産売却損	—	100
特別損失合計	—	100
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,690	△11,386
法人税、住民税及び事業税	1,605	1,682
法人税等合計	1,605	1,682
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,295	△13,068
少数株主利益	195	—
四半期純損失(△)	△25,491	△13,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年 7 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 2 月 1 日 至 平成26年 7 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△25,295</u>	<u>△13,068</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△16
その他の包括利益合計	1	△16
四半期包括利益	<u>△25,294</u>	<u>△13,084</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△25,489</u>	<u>△13,084</u>
少数株主に係る四半期包括利益	195	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,690	△11,386
減価償却費	2,997	2,982
固定資産売却損益(△は益)	—	100
のれん償却額	2,551	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△274	△221
受取利息及び受取配当金	△70	△67
売上債権の増減額(△は増加)	27,869	6,860
たな卸資産の増減額(△は増加)	224	△3,461
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,520	2,672
その他	3,075	△1,055
小計	9,161	△3,576
利息及び配当金の受取額	70	67
法人税等の支払額	△3,576	△3,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,655	△7,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,400	△100
有形固定資産の売却による収入	—	75
無形固定資産の取得による支出	△3,278	△3,136
貸付金の回収による収入	—	3,500
その他	663	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,015	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,640	△6,972
現金及び現金同等物の期首残高	667,465	671,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	669,105	664,214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	64,197	5,600	69,797	—	69,797
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,756	3,756	△3,756	—
計	64,197	9,356	73,554	△3,756	69,797
セグメント利益又は損失(△)	△3,072	4,717	1,645	△25,479	△23,834

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△25,479千円には、セグメント間消去1,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26,579千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	54,643	6,382	61,025	—	61,025
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,720	3,720	△3,720	—
計	54,643	10,103	64,746	△3,720	61,025
セグメント利益	8,439	4,772	13,211	<u>△24,591</u>	<u>△11,379</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△24,591千円には、セグメント間消去2,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26,991千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。